



2018年1月29日  
京都鉄道博物館

## ～夢の超特急を詳しく解説～ 車両解説セミナー「0系新幹線電車」を開催します

京都鉄道博物館では、1964(昭和39)年に製造され、東海道新幹線開業時から活躍した0系新幹線電車を4両保存・展示しています。2月は、学芸員が0系の歴史や、各展示車両の特徴をご案内する車両解説セミナーを開催します。ぜひこの機会に、世界で初めて時速200km以上での営業運転を実現し、「夢の超特急」と呼ばれた初代新幹線電車0系の車内見学をお楽しみください。

開催日 2月17日(土)・18日(日)

開催時間 ①11:00～ ②13:30～ ③15:00～ (各回40分程度)

場所 プロムナード

定員 各回40名

※ご参加には、各回30分前から0系21形1号車付近で配布する整理券が必要です。

見学車両



▲0系21形1号車  
運転台はご見学いただけません



▲0系16形1号車



▲0系35形1号車

当館に保存・展示する0系の概要

0系21形1号車・・・大阪方先頭車の2等車(現在の普通車)で、トイレと洗面所が設置されている。

0系16形1号車・・・1等車(現在のグリーン車)で、両側2列のリクライニングシートが特徴。

0系35形1号車・・・半室が2等車、半室がビューフェの合造車。

0系22形1号車・・・東京方先頭車の2等車。

### 特別な車両公開 「クハ489形1号車」

当館では週末を中心に、月替わりで展示車両の車内を公開しております。

開催日 2月の土曜日・日曜日・祝日

時間 ①10:00～12:00 ②13:30～16:30

場所 本館1階

クハ489形1号車は、1971(昭和46)年に製造され、特急「雷鳥」や「白山」などとして活躍。先頭に備えられた大きなボンネットが特徴。

